

取組概要

〔「岡山オルガノン」の構築—学士力・社会人基礎力・地域発信力の融合を目指した教育—〕

岡山県下全大学の学長懇談会は、産学官連携による活動組織である大学コンソーシアム岡山を設置し、2006年（平成18年）から活動を開始しました。その結果、各大学が個別に実施している優れた取組の存在が明らかになりましたので、新たに「岡山オルガノン」を構築し、互いに連携して各取組を発展・充実させ、地域活性化の担い手となる人材育成に資する総合的教育充実事業として興すことにしました。

本事業の目標は、学士力、社会人基礎力、地域発信力の向上であり、これらを融合させることで地域創生型の人材を育成します。具体的には、e-Learning方式による教育共有の実現、FD・SD活動の共同実施、学生個々のコンピテンシー向上を目指すキャリア形成教育の共同実施と教育指導者の育成、地域創生・環境教育に関わる教養教育の創出、地域経済界との連携による人材育成教育などです。全大学が特色を生かしつつ、積極的に本事業に取り組み、新たな地域貢献を実現させます。

「オルガノン」とは

オルガノン“organon”とは、アリストテレスの論理学関係の5つの著作の総称として、「学問を構築する上で基礎となる機関・道具」という意味です。本取組では「大学教育の基礎となる部分・原動力」と解釈し命名しました。

各大学が持つ特色を生かし、大学間の連携によりさらに強化していくことで、地方大学の活性化と再生につながれると期待しています。